

試験学習の取り組み方 ～「学習すること」と「試験に合格すること」～

一昔前は、私もみなさんと同じ受験生でした。私も私の周囲も「試験に合格するために、勉強(学習)しなければならない」と考えていました。しかし、試験に合格し、執筆活動等を通じて受験生の方々の状況を見ると「試験に合格する=勉強(学習)しなければならない」というのは少し違うのかな?と感じるようになってきました。「学問」とか、「勉強」とかの本質から捉えれば、「しっかりと勉強(学習)し、内容を深く理解して、試験を受けて、高得点で合格する」ことが望ましいのでしょうか。

★★★

しかし、実際には、試験に合格して資格を取得しないと、就職、生活、給与などの実生活に影響がでてしまう方が少なくないでしょうから、試験学習の希望論ばかり言ってもらえませんよね。

★★★

ですから、「試験に合格することだけ」を目標にした場合、試験で出題されない余計なことは学習する必要はなく、さらに、内容自体は知らなくても、問題文から正解を導いてしまうテクニックなどを駆使すれば、得点を積み重ねることも可能です。

★★★

試験合格に向けて、「合格するために、勉強しなければならない」という発想から、「合格のために、効率的な方法は何か」という発想に転換して取り組んでいかれると、短い時間で効果的に得点力をアップさせることにつながるだけでなく、「勉強しなければ」という精神的なプレッシャーの軽減にもつながると思います。

福祉試験対策工房&ぼぼ屋は、FacebookやInstagramも開設しています。

 @fukusitaisaku_boboya

 fukusitaisaku_boboya

★「いいね」「フォロー」大歓迎です！是非ご覧になってください★

編著：福祉試験対策工房

